

500g

鎮痙剤

塩酸リピペリン散10%
「マルイシ」10% Papaverine Hydrochloride Powder
「Maruishi」

製造販売元

丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

500g
塩酸リピペリン散10%「マルイシ」

2009年9月作成(第1版)	
日本標準商品分類番号	871243
承認番号	21300AMZ00496
薬価収載	2001年9月
販売開始	2001年9月
再評価結果	1999年6月

貯法：遮光し、室温保存
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

- 禁忌(次の患者には投与しないこと)
本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

製造番号

使用期限



JAN



4 987211 112509

GS1-RSS



(07)1498721112506

紙箱

プラ袋:PE

500g

鎮痙剤

塩酸リピペリン散10%
「マルイシ」10% Papaverine Hydrochloride Powder
「Maruishi」

製造販売元

丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

●組成・性状

- 組成
1g中 ババペリン塩酸塩0.1g(10%)
及び添加物として乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース 含有。
- 性状
白色の微粒状の散剤である。

●効能・効果

- 下記疾患に伴う内臓平滑筋の痙攣症状
胃炎、胆道(胆管・胆のう)系疾患
- 急性動脈塞栓、末梢循環障害、冠循環障害における血管拡張と症状の改善

●用法・用量

ババペリン塩酸塩として通常、成人1日200mg(本剤：2g)を3～4回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

●使用上の注意

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
緑内障の患者[眼圧上昇作用により、緑内障を悪化させるおそれがある。]

2.相互作用
併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
レボドパ	作用が減弱するおそれがある。	機序は不明であるが、本剤によるドパミンセプターの阻害が考えられている。

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
肝臓 ^{注1)}	アレルギー性の肝障害
過敏症 ^{注2)}	発疹等
循環器	心悸亢進、血圧上昇等
精神神経系	めまい、眠気、頭痛等
消化器	便秘、口渇、食欲不振、心窩部痛等
その他	顔面潮紅、発汗

注1)観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

注2)このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

4.高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、減量するなど注意すること。

5.妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していない(使用経験が少ない)。

6.小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない(使用経験が少ない)。